



朝 萩の花
顔 なでしこの花
の をみなしへし
花 また藤袴

山上 憶良

尾 萩の花
花 葛花
葛 なでしこの花
花 をみなしへし

～古の歌に咲く植物たち～

万葉びとの自然観をたどる

古代の人びとは、身近な草木に季節のうつろいや人の心を重ねて歌に詠みました。日本最古の歌集『万葉集』には、梅・萩・桜・橘など、およそ160種にもおよぶ植物が登場し、当時の日本人の自然に対する感性を今に伝えています。万葉びとのどのように自然を観て感じていたのか。『万葉集』に詠まれた植物の姿から、万葉びとの自然観や美意識を皆さんと学びます。ぜひご参加ください。

◆シリーズ127「万葉びとの自然観」について学ぶ全1回コース◆

2025/11/6 (木)
18:30 – 20:00
オンラインセミナー

万葉びとの自然観をたどる

講師：垣見 修司（同志社大学文学部 教授）

※ “NACS-J市民カレッジ（略称：Nカレ）”は、日本自然保護協会（NACS-J）に集う各分野のスペシャリストが講師を務めるオープンカレッジです。

■形式：オンラインセミナー

※zoomウェビナーを利用します。参加方法の詳しいご案内は、お申し込み後にお送りします。

■対象：NACS-J会員（法人会員社員の方を含む）、マンスリーサポーター

■定員：150名 ※先着順

■参加費：無料

■申込先：以下WEBフォームよりお申込みください。

講師紹介

かきみ しゅうじ

垣見 修司

同志社大学文学部 教授



博士（文学）。奈良県出身。1996

年同志社大学文学部文化学科 国文学専攻卒。関西大学大学院 文学研究科 国文学専攻修了。研究分野：上代日本文学『万葉集』巻十三の長歌、記紀歌謡および上代語。2011年第4回萬葉学会奨励賞受賞。著作『万葉植物の歌鑑賞事典』（共著、和泉書院、2023年）、『万葉集巻十三の長歌文芸』（和泉書院、2021年）

< URL > <https://x.gd/9bxL5>

< TEL > 03-3553-4101 < E-mail > n-college@nacsj.or.jp

日本自然保護協会（NACS-J）Nカレ担当

